

HP OpenView GlancePlus

HP-UX 11i v1 以降

ソフトウェア バージョン : C.04.50

インストール ガイド

2005 年 10 月



ご注意

保証書

当社では、特定用途に対する適合性、市場性などについては、本書に関する一切の保証をいたしかねます。本書の記載内容の誤り、および提供、パフォーマンス、本書の使用に関連して発生する直接損害、間接損害、特別損害、偶発的損害、または派生損害について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

当社製品に適用される特定の保証書は最寄りの当社営業所から提供しております。

権利の制限

合衆国政府が使用、複製、または開示を行う場合、国防総省についてはDFARS 252.227-7013 の "Rights in Technical Data and Computer Software" の (c) (1) (ii) に記載されている制限が適用されます。

Hewlett-Packard Company
United States of America

その他の機関については FAR 52.227-19 の (c) (1) および (c) (2) に記載されている制限が適用されます。

著作権

© Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

当社の書面による承諾なく、本書の内容のコピー、複製、別の言語への翻訳を行うことは禁じられています。本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

商標

UNIX® は The Open Group によりライセンスされています。

Windows® および Windows NT® は、米国において Microsoft Corporation の登録商標です。

Adobe® および Acrobat® は Adobe Systems Incorporated. の商標です。

Motif® は、米国およびその他の国々における Open Software Foundation の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標またはサービスマークです。

サポートについて

HP OpenView のサポート専用 Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/managementsoftware/support>

ここでは、HP OpenView の製品、サービス、サポートに関するお問い合わせ情報が掲載されています。

HP OpenView ソフトウェア サポート オンラインでは、セルフソルブ技術情報検索を利用でき、お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。ここでは、次の処理を実行できます。

- 技術情報の検索
- エンハンスメント要求の送信
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポートケースの登録とトラッキング
- サポート契約の管理
- HP サポート契約の検索
- 利用可能なサービスの参照
- ユーザー同士のディスカッション
- ソフトウェア トレーニングの検索と登録

ほとんどのサポート エリアについて、アクセスするには、HP Passport ユーザーとして登録、ログインする必要があります。また、多くのサポート エリアでサポート契約が必要です。

アクセスレベルに関する詳細は以下を参照してください。

http://www.hp.com/managementsoftware/access_level

HP Passport ID の登録は以下で行うことができます。

<http://www.managementsoftware.hp.com/passport-registration.html>

目次

1	GlancePlus のインストールと実行	7
	GlancePlus のコンポーネント	7
	gpm.	7
	glance	7
	システム要件	9
	ハードウェア	9
	OS.	9
	ソフトウェアとの依存関係	9
	ディスク スペース要件.	9
	ディスプレイ要件	9
	ランタイム メモリ	10
	GlancePlus のインストール	11
	GlancePlus の起動	13
	GlancePlus の削除	14
2	ドキュメント	15
	リリースノート	15
	オンライン ヘルプ	15
	ドキュメントの表示および印刷	16
	Web によるマニュアルの提供	16
	Adobe Acrobat ファイル	17
	ASCII テキスト ファイル	17

第 1 章 GlancePlus のインストールと実行

GlancePlus のコンポーネント

GlancePlus は、柔軟性に富んだ二つのコンポーネント（Motif® インターフェースの `gpm`、およびキャラクタモードの `glance`）を提供いたします。両モードは豊富なパフォーマンスデータに基づいています。

`gpm`

Motif® ベースの `gpm` では次の処理を行うことができます。

- システムパフォーマンスを複数のウィンドウを使って、わかりやすいグラフ形式で表示します。
- 各種グラフ、ハイパーリンクおよびウィンドウ形式を使用したパワフルなヘルプシステムを使用できます。
- アラーム機能により潜在的な問題を知らせます。
- ユーザーが他の作業をしている間でもシステム性能を監視します。
- Process Resource Management (PRM) 環境を管理します。

`glance`

キャラクタモードインターフェイスの `glance` は、次の処理を行うことができます。

- 低速データ通信環境でもパフォーマンスを監視できます。
- システムをリモートで監視できます。
- X 端末を使用できないときにシステムを監視します。

- アラーム機能により潜在的な問題を知らせます。

システム要件

GlancePlus をインストールする前に、システムが次の要件を満たしていることを確認してください。この要件は、特に指定がない限り `gpm` および `glance` の双方に適用されます。

ハードウェア

HP 9000/Integrity サーバー、HP ワークステーション

OS

HP-UX 11i v1 およびそれ以降

ソフトウェアとの依存関係

`gpm` のソフトウェアとの依存関係についての最新情報は、リリースノートを参照してください。

ディスク スペース要件

GlancePlus を初めてインストールする場合、`/var/opt/perf/` ディレクトリの Log ファイル用と同様に、`/opt/` ディレクトリに 40 MB を使用します。日本語版ではさらに 10 MB が必要です。

ディスプレイ要件

- `gpm`: HP X 端末または X ワークステーション ディスプレイ
- `glance`: `curses` ライブラリがサポートする端末

ランタイム メモリ

- `gpm`: 約 20 MB の仮想メモリ。
- `glance`: 約 10 MB の仮想メモリ。

GlancePlus のインストール

次の手順を実行して、GlancePlus ソース メディアから GlancePlus をインストールします。インストールには約30分かかります。工場出荷時のシステムにこのソフトウェアがあらかじめインストールされている場合は、以下の手順を省略して「GlancePlus の起動」に進んでください。

▶ GlancePlus を OV Performance Agent と共に使用する場合、双方の製品バージョン番号を同じにしてください。

- 1 root としてシステムにログオンします。
- 2 GlancePlus、または OV Performance Agent がインストール済みの場合は、perfstat を実行して、アクティブなパフォーマンス ツールを確認します。

/opt/perf/bin/perfstat

別のユーザーが glance または gpm を実行中の場合は、実行しているユーザーにこれらのプログラムを終了するように指示します。

- 3 OV Performance Agent が実行中の場合、次のように入力して終了します。

/opt/perf/bin/mwa stop

- 4 midaemon がアクティブでないことを次のように入力して確認します。

/opt/perf/bin/midaemon -T

- 5 ttd がアクティブでないことを次のように入力して確認します。

/opt/perf/bin/ttd -k

▶ ttd を終了する場合、ttd と GlancePlus プロセスを再起動する前に、すべての ARM 装備のアプリケーションも同様に終了してください。

- 6 再度 perfstat を実行して、すべてのパフォーマンス ツールが停止していることを確認します。
- 7 GlancePlus を新しくインストールする場合で、/opt/ ディレクトリに 40 MB 以上の空き容量がないときは、容量を確保できる別の場所に <path>/perf ディレクトリを新たに作成します。/opt/perf との間にシンボリック リンクを作成します（シンボリック リンクの詳細については man ページの ln を参照してください）。

- 8 HP-UX の他のソフトウェアパッケージのインストールと同様に、swinstall を実行し GlancePlus をインストールします。

```
swinstall -s <hostname>:<depot_path> <product_bundle_ID>
```

- 9 インストール メディアをポイントするようにソースを変更し、GlancePlus Pak バンドル (GlancePlus Pak の購入以外の場合は GlancePlus バンドル) を選択します。

▶ インストールに失敗した場合、他のパフォーマンス ツール (OpenView Performance Agent など) を実行していたことが考えられます。swinstall ログ ファイル にはソフトウェアの停止方法が含まれています。またはステップ 2 を参照してください。

GlancePlus Pak のインストールでは、/etc/profile で使用されるファイルが自動的に更新されるため、ユーザーは自分のシェル環境変数を手動で更新しなくても、インストールした製品およびその man ページにアクセスできます。この変更は次のログインから反映されます。ほとんどの実行可能ファイルは、/opt/perf/bin にあります。man ページは、/opt/perf/man/ にあります。

アプリケーションは /var/opt/perf に配置されている parm ファイルで定義されます。このファイルはシステムに適合するようにカスタマイズしてください。詳細については、「アプリケーションの定義」を参照してください。

/opt/perf/examples/ ディレクトリには、hp パフォーマンス製品のカスタマイズに使用できる構成ファイル、シンタックスファイル、サンプルのプログラムが配置されています。たとえば、/examples/adviser/ ディレクトリには、アドバイザシンタックス、/examples/arm/ ディレクトリには、Application Response Measurement の例が配置されています。詳細については、/opt/perf/examples/ の README ファイルを参照してください。

GlancePlus の起動

GlancePlus がインストールされているシステムにログオンします。

- 1 GlancePlus を Motif インターフェイスで実行する場合、ワークステーションの DISPLAY 変数を次のようにして設定してください。

Korn shell: **export DISPLAY=<workstationid>:0.0**

C-shell: **setenv DISPLAY <workstationid>:0.0**

Bourne shell: **DISPLAY=<workstationid>:0.0**
 export DISPLAY

<workstationid> は、GlancePlus を表示するワークステーションの名前です。

- 2 Motif インターフェイスで実行する場合：

gpm

キャラクタ モード インターフェイスで実行する場合：

glance

GlancePlus の削除

システムから GlancePlus を削除するには、`/usr/sbin/` ディレクトリの `swremove` を実行します。GlancePlus を削除する前に、このスクリプトは作成されている log ファイル、データ ファイルを削除するかどうか確認します。

GlancePlus Pak を削除します。次のように入力します。

```
swremove <file_ProductID>
```

<file_ProductID> は、GlancePlus (GlancePlus Pak または GlancePlus バンドル) を `swinstall` スクリプトでインストールした際に使用した ID です。

第2章 ドキュメント

リリースノート

この GlancePlus リリースに関する追加情報は、次に配置されている GlancePlus リリース ノートを参照してください。

```
/opt/perf/ReleaseNotes/Glance
```

オンライン ヘルプ

gpm の場合

- GlancePlus Motif インターフェースでこの機能を使用できます。gpm のウィンドウから **Help** をクリックしてください。
- 表示中の gpm ウィンドウの **Help** を表示するには、ウィンドウの **Help** メニューから **On This Window** を選択してください。
- 表示中の gpm ウィンドウの各アイテムに関する **Help** を表示するには、画面右上の [?] ボタンをクリックし、知りたいアイテムをクリックしてください。一旦 [?] をクリックすると gpm は再度 [?] がクリックされるまで **On Item Help** モードを維持します。

その他、個別アイテムに関する **Help** は、そのアイテムにカーソルを合わせマウスの右クリックで表示されます。

glance の場合

キャラクターモードの GlancePlus では、**h** コマンドまたは **Help** ソフトキーを使用します。glance のコマンドラインメニューの表示は、?を入力してください。

ドキュメントの表示および印刷

GlancePlus ソフトウェアは、表示および印刷用フォーマットでドキュメントセットが用意されています。Adobe Acrobat フォーマット (*.pdf) のファイルは必要に応じて表示あるいは印刷ができます。ASCII テキスト (*.txt) 形式のドキュメントは、印刷または、vi のような UNIX テキストエディタを使用して表示できます。

ドキュメントの配置場所と名称は、次の表に記載されています。

表 1 GlancePlus ドキュメント

ドキュメント	ファイル名	配置場所
<i>HP OpenView GlancePlus Installation Guide</i>	GP-install.pdf	/opt/perf/paperdocs/ gp/C/
<i>GlancePlus for HP-UX Metrics Dictionary</i>	metrics.txt metrics.pdf	/opt/perf/paperdocs/ gp/C/
<i>HP OpenView Performance Agent and GlancePlus Tracking Your Transactions Manual</i>	tyt2.pdf	/opt/perf/paperdocs/ arm/C/
<i>Application Response Measurement (ARM) API Guide</i>	arm2api.pdf	/opt/perf/paperdocs/ arm/C/

Web によるマニュアルの提供

リストにあるドキュメントは、次の HP OpenView Manual Web サイトからダウンロードできます。

http://ovweb.external.hp.com/lpe/doc_serv

製品リスト ボックスから「GlancePlus」を選択し、さらにバージョン (OS により自動的に選択されます)、OS、の順に選択してください。[Open] をクリックするとドキュメントをオンラインで閲覧できます。また、[Download] をクリックして、コンピュータにファイルをダウンロードすることもできます。

Adobe Acrobat ファイル

Adobe Acrobat ファイルは、Acrobat 7.0 で作成され、Adobe Reader 4.0 以上で表示できます。Adobe Reader は、次の Adobe's web サイトからダウンロードできます。

<http://www.adobe.com>

Adobe Reader で表示中のドキュメントは、個別のページ、グループあるいは全ドキュメントの印刷ができます。

HP-UX では、Adobe Reader がシステムにインストールされている場合、PDF を `acroread` コマンドで表示できます。つぎのコマンドを入力します。<path> は `acroread` コマンドの場所です。

`<path>/acroread filename.pdf`

ASCII テキスト ファイル

txt ファイルの印刷は、次のように入力します。

`lp -dprintername filename`

例

`lp -dros1234 metsun.txt`

